

DOJIN  
R18  
ADULT ONLY

サロンド・キャスター  
喜多川 美緒  
はあきや箱と片付けたい





殺さなければ

尊敬していた

愛していた

消さなければ

まったく、  
懲りないなあ  
君も……!

私は――

我は神の愛し子を  
殺すもんだ!

下

下

今だ！

ではお前の人生を  
書き上げよう

題名は—

!!  
宝具—

メルヒエン・マイネスレーベンス  
『貴方の為の物語』  
だ

何だこれは—  
何をされた…!?

我の…外装が  
保てない—

あーあー

あーあー

あーあー

あーあー

あーあー



サロン・ド・キャスター  
宮廷芸術家は  
おもちゃ箱を片付けない



サリエリがサロン・ド・キャスターの工房に居るって!?

なにしてんのあのノ

ナギは!?

……って  
それアマデウスが危ないよね?



え!?



しばらくは何も起きないだろう

今は童話作家が俗悪でツギハギの無事の怪物を、原書によって上書きしている

アンデルセンが……?

普段あんなに働くの嫌がってるのに……



心配ない



思いの外……奴等の絆も固いのかもしれないが



酒代ぶんの労働だろうさ

ひどく懐かしい  
感覚に思える

穏やかな  
落下感

ジェラートを  
食べに行こうか

もう一度  
フラんツを  
連れて...

妹君に失礼の  
ないように

陛下に献上する  
オペラを書こう

公演の予定を  
詰めなければ

それに...  
ああ、今日は...

彼の、部屋に...



おはよう  
サリエリ

君が昼まで  
寝てるなんて  
珍しいなあ

明日は雪でも  
降るかもね!





あーあ、見事に  
腫れてる

写譜を手伝ってくれる  
約束だったろう？  
二度寝されちゃ困るよ



もちろん  
知ってるさ

それにしても  
ハデにいったね

すまは



……っ

……心配ない  
只の打ち身だ



大丈夫？



……



そうだ、珈琲を  
淹れようか

挽きたては  
格別だからね



……  
アマデウス



私は…何か  
大切なことを  
忘れていないか  
のではないか

ああ  
それなら  
戴冠式のための  
衣装の話だろ



衣装…？

3…いや、  
4つ頼む

砂糖は？



相変わらず  
甘党だなあ  
で？もう職人は  
見つけたのかい

…



ああ…  
そうだった



探さなければ  
ならないな…



さて…

どう決着をつける気だ…



予想以上に  
消耗が激しい

だが無理もない！  
俺の作風にも  
全く合わん荒技だ



まずいな



別に？

顔合わせる度  
殺されかけちや  
敵わないだけさ



胡散臭いぞ  
音楽家

何を  
隠している

—というわけで  
どうにかできない？  
そういうの得意だろ



ねえ

それにさ  
作家先生

灰色の男は、どっかの  
誰かが描いた歌劇だ

それなら、僕が  
改作したって  
いい筈だろう？

素晴らしい出来だが……

腕の良いホルン奏者をこんな  
に使うのか？



わかってる

だから最初に君に見せたんだ



……  
始めからそのつもりだったのか……

やられた

頼まれ事は得意だろ？



そういうわけで頼んだぜ。パパ

僕はちよっと寝るけど

二時間で起こすぞ



まったく……

まるで大きな子供だな



たけしん

彼の才能は星に似ている

『ゴッドリリーフ 神童』……

天頂に煌めく一等星

手の届かない遙か高みで輝き続ける孤独なボラリス

それは

太陽が西へ沈み東から昇るように——当然のこと

誰もが彼を指標とし誰もが彼に並べない

皆は口を揃えてそう言うのだ



私は永劫、彼の苦悩に  
触れることは  
出来ないのだろうか

夜空に手を伸ばしても  
星を掴めないように



……  
アマテウス  
……



なんだよ

しないの？



……  
こんな、  
卑劣な……



……ッ!?







傑出した才能は  
空間も時間も  
超越せしめる  
不滅の呪いだ

煌めく星の破片は  
感じやすい魂に  
深々と食い込み、  
風のそよぎさえ  
天啓に変えてしまう

瞬間——もはや世界は  
歪んで戻らず、  
心酔の沼地の住人だ

まるで  
自叙伝のような  
口振りだな？

童話作家



フン、興奮めな  
ファンタジー  
楽曲分析など  
せずとも分かる

恋よりも余程  
始末に悪いものを  
知っているか？



憧憬だ



そう、唇で  
歯は隠して

…思ったより  
上手いね

れ



れ



ちよっと  
頑張っ  
てね

パパ











腹の中が熱く  
溶け出していく

彼の牡を欲しがり  
打ち震えているのが  
わかってしまう

こんな  
こんな感覚は  
知らない……!

うお……すごい  
食いつき

何、サリエリ  
挿れただけで  
イッたの？

私は……な、なんて声を  
あげて……恥知らずな！

このような  
淫乱な一面が  
あったなどと

知りたく  
なかつた！  
知られたたく  
なかつた！

恥ずかしい、  
はしたない、  
見られたくない

他にもない——  
彼にだけは……!

……う

……う



ひあ…っ!?

やっア、動くな…ッ!  
わ、わけが…わからなく  
なっア、しま…っ!

ズルズル

この過剰反応…  
魔力不足か

もうあんまり  
時間がないな



泣かないで  
よしよし

痛くない  
でしょ?



ん…っ



やだならパーバってば  
君も男ならわかるだろ?

そういうの、かえって  
煽るだけなんだよね!

だめ

いやだ…アッ

ばちん



ダメだよ  
抑えたら

何を恥ずかしがる  
ことがあるんだ

陛下も愛したその声で  
僕のために歌ってよ…



裡を強く  
抉られるたび  
火花が散る

この全身が—  
彼との繋がりに  
歓喜している…



良い共鳴

楽器はイタリアに  
限るって本当だね



そう言うな  
好きなくせに

この…  
ろくでなし、  
が…っ！

あっ……



おサリエリ  
このまま、  
中に出して  
いい...?



ダメだっ...  
ロッドリリーフ  
.....





あの才能は  
眩しすぎるから











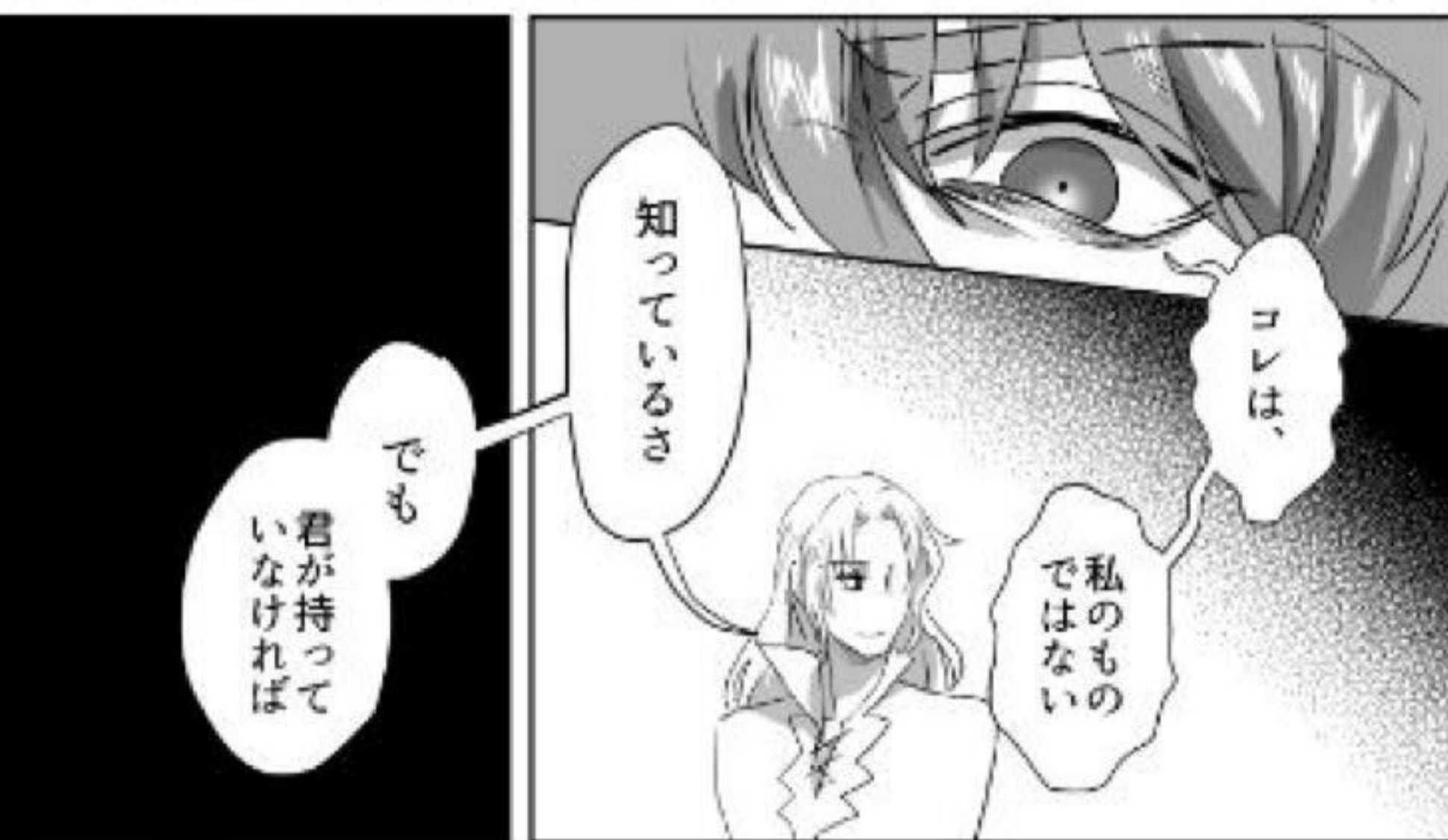


忘れる前に  
これを返すよ

…今の君には  
必要なものだろ？



全ては  
お前さんだぞ



コレは、

私のもの  
ではない

知っているさ

でも

君が持って  
いなければ



何故だ

モーツアルト



……  
アマデウス

お前の友に  
なりたかった

君は善い  
人間だった



その孤独を、  
重荷を

…叶うなら  
理解したいと  
願っていた

うん



貴様は  
何故死んだ

疑惑と

誤解と、

どうして助けを  
求めなかった

後悔を  
残して

お前はただ…  
いつも通りに  
笑うばかりで

何も  
言わなかった  
じゃないか



答えろ  
モーツァルト

どうして  
死んだのだ

サリエリを

貴様に魅せられた  
聴衆を置いて…



ああ、



ひどい、

男だ…



それが  
僕の運命だ





……うん

ごめんな





まさに  
問一髪!

ご無事で  
なによりです



……  
何か  
言ったか?



しかし、即興の  
脱出劇にしては

少々ゴア表現が  
強過ぎましたか?

いやあ、派手で  
良かったよ!

刺されたの  
僕じゃないし



さすが趣味  
悪いな!

吾輩、胸糞展開が  
十八番なもので

正直、筆が些か  
ノリ過ぎました



手伝って貰ったのに  
要の僕は三流の演奏  
だったけれどね

僕としたことが  
なんて失態だ！



ん  
何？



お前  
気付いて  
いないのか



玩具を失くした  
子供のような  
顔をしているぞ



Fate/GrandOrder Unofficial Fan Book.14  
Amadeus\*Salieri/Adult Only/20180617  
魔術師手術中

